

事務事業調書

平成26年度

事業No	357	課	健康推進課	係	予防係	起案者	田中美保
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	広域二次医療事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり				予算科目(会計)		一般会計	
	1 健康				予算科目(款・項・目)		20-5-5	
	4 地域医療				総合計画以外の計画			
	1 救急診療				関連する総合計画の施策			
	2 市民にわかりやすい医療情報				性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	救急患者が				~になる	広域二次医療機関で救急医療を受けられる	
事務事業の内容	碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市（衣浦西尾広域二次救急医療圏）の救急医療を円滑に推進するため、地域の病院群が共同連帯して、地域住民の休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者の医療確保を図ることを目的として対象病院へ補助します。							
改善・対策の履歴	一次救急医療機関の後方病院として、地域の救急患者の受け入れを担っているが、安城更生病院とともに受入数に余裕がない状況で、改善が望まれています。 平成23年度は、小中学生の保護者に救急医療のかかり方のチラシを作成・配布して周知を図りました。 平成24年度は、安城市保健センター施設の出入り口にポスターを掲示し周知を図りました。 平成25年度は、前年度までの内容を継続しました。その中で、市内の広域二次医療機関（八千代病院）の協力を得て、広報（9/1号）への折込チラシを作成しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	8,785	8,803	8,812	8,812	8,844
財源計	8,659	8,677	8,686	8,686	8,718
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	8,659	8,677	8,686	8,686
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の支払	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支払い件数(式)	活動の総事業費 (千円)	8,785	8,803	8,812	
			活動にかかるコスト (千円)	8,785.00	8,803.00	8,812.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移								
	指標名(単位)			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	対象病院の搬送人数(人)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	2,321.00	3,208.00	3,391.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況			
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果	
成果	休日、夜間においての急病時に市民の安全・安心を得ることができます。 活動の総事業費を上回る補助金が安城市内の広域二次医療機関（八千代病院）に支払われます。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	各市の負担金は人口比率に応じあん分しているため、大きな変動はありません。
成果	八千代病院の救急医療体制の充実と衣浦東部広域連合消防による搬送病院の振り分けにより搬送人数が増加しています。 衣浦西尾広域二次救急医療圏内6市で事業費負担金を供出し、圏内4箇所の広域二次医療機関に補助する仕組みであるため、安城市が単独で八千代病院に補助するより金額が多くなっています。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
市民一人ひとりが安心して暮らせる環境を保つために価値ある事業であり、今後も他市との協力により維持していくことが必要です。また、二次救急医療体制による救急機能を確保するため、市民全員がかかりつけ医を持ち、救急の場合に適切に受診先を選択するよう、広報折込やチラシを作成し、市民意識の変革を行います。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	補助対象病院は、衣浦西尾広域二次救急医療圏の一次医療機関の後方病院として地域の救急患者の医療を担当しており、重要な位置付けとなっているため、市民の安心・安全を得るために引き続き補助を行います。

事務事業調書

平成26年度

事業No	358	課	健康推進課	係	予防係	起案者	田中美保
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	更生病院・八千代病院救急医療補助事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 1 救急診療 2 市民にわかりやすい医療情報			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		20-5-5		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	安城市救急医療事業補助金交付要綱						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始	平成元年度	経過	25年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	救急患者が			~になる	救急医療を受けられる。		
事務事業の内容	市民の健康を守るとともに医療サービスの向上のため、第2次救急医療施設（八千代病院）と第3次救急医療施設（安城更生病院）の救急医療に対して補助を行います。							
改善・対策の履歴	市民のコンビニ受診を防ぐため、各病院で広報紙を作成し、近況報告をしています。 平成23年度は、救急のかかり方、かかりつけ医のすすめ、休日急病診療所の診療時間などを広報（9/1号）折り込みチラシ、ホームページ、幼・保育園保護者へのチラシ配布（12/10）により市民へ周知を図りました。平成24年度は、前年度を継続するとともに、安城市保健センター施設の出入り口にポスターを掲示し周知を図りました。平成25年度は、安城更生病院、八千代病院の協力を得て、広報折り込みチラシを作成しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	107,026	107,026	107,026	107,026	107,026
財源計	106,900	106,900	106,900	106,900	106,900
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	106,900	106,900	106,900	106,900
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の支払	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支払い件数(式)	活動の総事業費 (千円)	107,026	107,026	107,026	
			活動にかかるコスト (千円)	107,026.00	107,026.00	107,026.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移									
	指標名(単位)			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
成果1	安城更生病院救急受診患者数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00	
				実績	41,421.00	40,979.00	39,071.00		
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況				
	八千代病院救急受診患者数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00	
実績				12,796.00	15,687.00	12,733.00			
目標達成年度					目標成果指標値	0.00	達成状況		
成果2									

5 成果1、2以外の成果	
成果	救急・急病の時、市民の安全・安心を得ることができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
	安城更生病院、八千代病院ともに、救急医療については赤字なっています。市では現在その赤字幅の変動に合わせてことなく、予算の定める範囲内で定額補助を行っているのでコストに変動はありません。
成果	更生病院・八千代病院での救急患者受入れ体制が整っていること及び衣浦東部広域連合消防により患者搬送が適切に行われることが、市民の安心感につながっています。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
市民にとって市内に24時間開院している2病院の急病施設があることは、安心して生活ができ、医療サービスに多いに役立つ意義ある事業です。両病院の救急医療体制を確保するため、かかりつけ医のすすめ・救急時の受診方法などについて広報等で市民へ周知します。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	両病院は市内の救急患者の医療を担当しており、市民の安心・安全を得るため引き続き補助を行います。

事務事業調査

平成26年度

事業No	359	課	健康推進課	係	予防係	起案者	田中美保
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	安城更生病院移転新築補助事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 1 救急診療 2 市民にわかりやすい医療情報		予算科目(会計)		一般会計			
			予算科目(款・項・目)		20-5-5			
			総合計画以外の計画					
			関連する総合計画の施策					
			性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	有	更生病院移転新築事業補助金交付要綱						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	有	口腔外科の開設について（H20）						
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始	平成14年度	経過	12年目	終了	平成28年度	期間	15年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市民が			～になる	充実した設備の総合病院で医療を受けられます。		
事務事業の内容	安城更生病院の医療・療養環境の整備充実を図ることにより、市民の健康を守り、医療サービスの推進に資するため、移転新築事業に要する経費に対して補助金を交付します。施設整備事業費、医療機器購入経費、用地整備事業費について平成14年から15年間で補助を行います。							
改善・対策の履歴								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	676,800	630,678	626,438	626,438	581,606
財源計	676,674	630,552	626,312	626,312	581,480
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	676,674	630,552	626,312	626,312
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の支払	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支払い件数(式)	活動の総事業費 (千円)	676,800	630,678	626,438	
			活動にかかるコスト (千円)	676,800.00	630,678.00	626,438.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移								
	指標名(単位)			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	1日平均患者数（外来）（人）			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	1,874.00	1,892.00	1,884.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況			
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果	
成果	毎年度多額の補助金を支払っていますが、市民病院的な役割を担う病院への補助として成果は大きいものとなっています。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	利子補給分の補助金額が減額となり、コスト減となっています。
成果	更生病院が市民病院的な役割を担う病院として機能を果たしています。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
平成14年度から15年間の債務負担を起し、交付決定当初の支払計画により補助を行っています。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民病院的役割を果たしている病院であり、市民の健康を守るとともに医療サービスの向上のため、補助を継続していきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	360	課	健康推進課	係	予防係	起案者	田中美保
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	八千代病院移転新築補助事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 1 救急診療 2 市民にわかりやすい医療情報			予算科目(会計)		一般会計					
				予算科目(款・項・目)		20-5-5					
				総合計画以外の計画							
				関連する総合計画の施策							
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの						
根拠法令	有	安城市病院施設整備等補助金交付要綱									
法定受託事務	無										
公約・議会答弁	無										
陳情・市民要望	有	八千代病院への積極的支援に関する陳情書（H25）									
実施方法	直営		委託先								
実施期間	開始	平成17年度		経過	9年目		終了	平成26年度		期間	10年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民が			～になる		充実した設備の総合病院で医療を受けられます。			
事務事業の内容	地域住民の健康を守り、医療サービスの推進に資するため、救急医療体制の円滑化のための施設、整備及び高度医療に必要な機器の設置に要する経費、療養病床（病院）の設置に要する経費、電子カルテ・レセプト電算処理システム導入に要する経費に対して補助をします。平成17年から10年間で補助を行います。										
改善・対策の履歴											

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	253,639	251,178	248,717	248,717	248,965
財源計	253,513	251,052	248,591	248,591	246,130
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	253,513	251,052	248,591	246,130
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	2,835 (0.45)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の支払	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支払い件数(式)	活動の総事業費 (千円)	253,639	251,178	248,717	
			活動にかかるコスト (千円)	253,639.00	251,178.00	248,717.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移								
		指標名(単位)		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	1日平均外来患者数(人)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	750.90	788.30	799.60	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況			
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果	
成果	毎年度多額の補助金を支払っていますが、市民病院的な役割を担う病院への補助として成果は大きいものとなっています。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	利子補給分の経費が逓減していることから、単位コスト減となっています。
成果	1日の平均外来患者数も順調に増加しており、八千代病院が市民病院的な役割を担う病院として機能を果たしています。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
平成17年から10年間の債務負担を起し、交付決定当初の支払計画により補助を行っています。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民病院的役割を果たしている病院であり、市民の健康を守るとともに医療サービスの向上のため、補助を継続していきます。

事務事業調査

平成26年度

事業No	361	課	健康推進課	係	予防係	起案者	田中美保
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	高度医療機器整備補助事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 1 救急診療 2 市民にわかりやすい医療情報				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		20-5-5			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	有	安城市高度医療機器等整備補助金交付要綱								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	有	高額医療機器整備助成金要請書（血管撮影装置）								
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民が			~になる		高度な救命救急医療、がん診療が受けられます。		
事務事業の内容	地域住民の健康を守り、医療サービスの推進に資するため、高度医療に必要な機器の設置に要する経費に対して補助を行います。									
改善・対策の履歴	平成25年度に補助対象とする高度医療機器を明確にした補助金交付要綱を制定した。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	55,791	106,729	98,280	98,280	99,535
財源計	55,350	106,288	97,839	97,839	99,094
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	55,350	106,288	97,839	99,094
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	441 (0.07)	441 (0.07)	441 (0.07)	441 (0.07)	441 (0.07)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の支払	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支払い件数(式)	活動の総事業費 (千円)	55,791	106,729	98,280	
			活動にかかるコスト (千円)	55,791.00	106,729.00	98,280.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	新患率(%)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	10.44	10.61	11.40	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況				
成果2	画像検査件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	308,414.00	309,357.00	307,072.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	住み慣れた地域から離れることなく、高度な医療機器を使用した検査や医療が受けられ、市民の安全・安心を得ることができ ます。高度医療機器の導入は、検査精度を高めるとともに、検査にかかる時間を短縮させることで患者にかかる身体的負 担を軽減するなど、医療の質を高める効果もあります。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	病院が購入した高度医療機器に対して、予算の範囲内で補助をしています。
成果	高度医療機器での検査や治療ができることにより、市民の安全・安心を得られます。成果指標については、件数の伸びはあ りませんが、病院が検査できる件数は現在ほぼ上限に達しているためです。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・今後も、医療機器の進歩に合わせ、補助の必要性を保健所等の専門家の意見を聴きながら検討します。 ・補助金申請者に機器選定過程を提示させて、対象機器が適正に選定されているか確認をしていきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民の健康を守るため、更生病院、八千代病院における高度医療を確保するために必要な機器に対し ては引き続き補助を行います。

事務事業調書

平成26年度

事業No	363	課	健康推進課	係	予防係	起案者	田中美保
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	保健衛生推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 1 救急診療 2 市民にわかりやすい医療情報				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		20-5-5			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	口腔衛生事業補助金交付要綱、食品衛生協会衛生活動事業補助金交付要綱								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	25年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民が			~になる		健康で健やかな生活が送られる		
事務事業の内容	口腔衛生の推進を図るため一般社団法人安城市歯科医師会が行う活動と食品衛生の推進を図るために愛知県食品衛生協会安城支部が行う活動に対し補助する。									
改善・対策の履歴										

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,156	1,156	1,156	1,156	1,156
財源計	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	1,030	1,030	1,030	1,030
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)	126 (0.02)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の支払	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支払い件数(式)	活動の総事業費 (千円)	1,156	1,156	1,156	
			活動にかかるコスト (千円)	1,156.00	1,156.00	1,156.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	2歳児歯科健診とフッ化物塗布の参加者(人)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	485.00	424.00	383.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況				
成果2	食品衛生責任者講習会の参加者(人)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	939.00	931.00	978.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	・2歳児の歯科健診を行うことにより、3歳児健診時でのう蝕罹患率が低水準になっています。平成21年度 14.3% 平成22年度 16.3% 平成23年度 14.2% 平成24年度 13% 平成25年度 13.9% ・食習慣や歯のみがき方などのう蝕を予防するための知識や方法を啓発できています。また、日曜日に開催しているため、家族単位で来場があり、家族で歯の健康にふれる機会となっています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等													
活動コスト	・歯科医師会及び食品衛生協会へ予算の範囲内で一定金額の補助をしています。そのため、活動コストに変動はありません。												
成果	3歳児健診で、う蝕の幼児が少ないのは、2歳児の歯科健診とフッ化物塗布の実施の成果と推測しています。 ・かかりつけ歯科医で定期的に歯の健康管理を受けている家庭が増加しており、参加者が減少する原因と考えられます。 (定期的に歯科健診を受けている割合) <table><thead><tr><th></th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. 6歳</td><td>13.2%</td><td>18.2%</td><td>19.3%</td></tr><tr><td>3歳</td><td>44.2%</td><td>46.2%</td><td>50.0%</td></tr></tbody></table>		H23	H24	H25	1. 6歳	13.2%	18.2%	19.3%	3歳	44.2%	46.2%	50.0%
	H23	H24	H25										
1. 6歳	13.2%	18.2%	19.3%										
3歳	44.2%	46.2%	50.0%										

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
補助団体の活動内容、必要経費を確認し、補助金額等の見直しを継続して行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	口腔衛生及び食品衛生の推進を図るため、補助団体の活動状況を把握し、必要な活動に対して補助を行います。

事務事業調書

平成26年度

事業No	364	課	健康推進課	係	予防係	起案者	神谷瑞恵
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	献血推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		20-5-5		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体					
実施期間	開始	昭和41年度	経過	48年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	輸血を必要とする人が			~になる	安全な血液を安定した供給で受けることができる。		
事務事業の内容	安城市献血推進協議会を運営しています。協議会は愛知県赤十字血液センターと協力して、市内の企業や団体での献血活動を推進し、円滑な輸血用血液の確保を図ります。多数回献血協力者の功績を称え、表彰及び記念品の贈呈を行います。また、骨髄バンク、臓器移植に関わる啓発事務を行います。							
改善・対策の履歴	献血制限の強化につれ、献血可能な協力者が減少してきています。協力者の確保のため記念品の見直しを定期的に行っています。 平成20年度に多数回献血協力者表彰要綱を見直し、25回の協力を達成ごとに表彰することとしました。 平成24年度から新規会場を確保しました。 平成25年度に協力事業者が2箇所増加しました（内1箇所は市より血液センターへの紹介）。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,005	3,005	3,005	3,005	3,005
財源計	800	800	800	800	800
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	800	800	800	800
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,205 (0.35)	2,205 (0.35)	2,205 (0.35)	2,205 (0.35)	2,205 (0.35)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	献血事業	見込	3,760.00	3,072.00	2,999.00	3,028.00
			実績	3,590.00	3,708.00	3,773.00	
	指標名 (単位)	受付者(人)	活動の総事業費 (千円)	881	955	951	
			活動にかかるコスト (千円)	0.25	0.26	0.25	
活動2	活動名 (活動内容)	献血事業	見込	70.00	70.00	70.00	70.00
			実績	68.00	71.00	78.00	
	指標名 (単位)	延べ実施会場(会場)	活動の総事業費 (千円)	759	654	654	
			活動にかかるコスト (千円)	11.16	9.21	8.38	
活動3	活動名 (活動内容)	多数回献血者表彰	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	17.00	12.00	15.00	
	指標名 (単位)	表彰者数(人)	活動の総事業費 (千円)	1,365	1,396	1,400	
			活動にかかるコスト (千円)	80.29	116.33	93.33	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	献血協力者数(人)			目標	3,006.00	3,072.00	2,999.00	3,028.00
				実績	2,921.00	2,976.00	3,077.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	3,028.00	達成状況	未達成	未達成	達成
成果2	献血単位数(献血単位) ※献血単位: 200ml=1単位、400ml=2単位(献血単位※)			目標	5,653.00	5,792.00	5,701.00	5,758.00
				実績	5,503.00	5,668.00	5,846.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	5,758.00	達成状況	未達成	未達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	献血者に簡易な血液検査が受けられる機会を提供するとともに、気軽にできる社会貢献の場を提供しています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・市内企業、市民団体の協力により、献血実施会場が増えたため、単位コストが下がりました。また、平成25年度は多数回表彰者数が前年度より多くなったため、コストが減少しました。
成果	・実施会場及び受付人数が増えたことにより、献血単位数は目標数値を達成することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・全国的に、献血協力者数は減少傾向にあります。安定的な輸血用血液を確保できるよう、血液センターと協力しながら献血啓発活動を行っていきます。また、新しく献血会場を提供していただける協力団体の発掘に努めます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	血液は人工的に造ることができず、輸血用血液の安定的な確保を図るために、今後も事業を継続します。

事務事業調書

平成26年度

事業No	889	課	健康推進課	係	成人保健係	起案者	神谷基弘
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	健康日本21安城計画推進事業				事業種別	企画・計画策定	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		20-5-5			
					総合計画以外の計画		健康日本21安城計画			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの				
根拠法令	有	健康増進法第8条第2項								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託		委託先		民間企業					
実施期間	開始	平成16年度		経過	10年目		終了	平成35年度	期間	20年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		健康日本21安城計画の推進により市民が			~になる		自らの健康づくりを継続して実践できるようになる		
事務事業の内容	第1次健康日本21安城計画の推進及び第2次健康日本21安城計画の策定及び推進を行います。									
改善・対策の履歴	平成24年度は、健康に関する基礎調査を行い、第1次計画の最終評価を行いました。 市民ワークショップを5回開催して、市民の考えるプログラムを作成しました。 平成25年度は、各種団体・企業などと意見交換会を18回開催し、健康に関する取り組みの現状や課題、市全体の健康づくりにつながる内容について意見を聞きました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,260	12,388	14,936	14,471	2,520
財源計	0	4,828	5,486	5,021	0
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	4,828	0	0
	一般財源	0	0	5,486	5,021
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	7,560 (1.20)	9,450 (1.50)	9,450 (1.50)	2,520 (0.40)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	各策定委員会の開催	見込	0.00	9.00	15.00	0.00
			実績	0.00	9.00	15.00	
	指標名 (単位)	アンケート内容、実施方法、計画の検討(委員会開催回数)	活動の総事業費 (千円)	0	11,758	13,841	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	1,306.44	922.73	
活動2	活動名 (活動内容)	協議会の開催	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	指標の評価及び実施計画の進捗管理(協議会開催回数)	活動の総事業費 (千円)	1,260	630	630	
			活動にかかるコスト (千円)	630.00	315.00	315.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	各指標の達成度（A判定の数）を基礎調査の結果や毎年の実績から評価する（達成度）			目標	40.00	163.00	40.00	0.00
				実績	17.00	59.00	17.00	
	目標達成年度	平成25年度	目標成果指標値	40.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	指標の達成度（A判定の数）を基礎調査の結果や毎年の実績から評価する（達成度）			目標	0.00	0.00	0.00	70.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成35年度	目標成果指標値	100.00	達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	アンケート調査を行った平成24年度の最終評価では、改善と達成を合わせると113の指標で69.3%となりました。「アルコール」「歯の健康」「健やか親子」分野で改善の割合が高くなり、「生活習慣病」分野においては悪化の指標の割合が高くなりました。平成25年度は、23の指標で70%となっています。平成26年度からの第2次計画においては、今後の目標値について再検討をしています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成25年度は、第2次健康日本21安城計画の策定年だったため、策定委員会、幹事会、分科会をそれぞれ5回計15回(前年9回)開催したので、活動のコストは減りました。なお、平成25年度をもって第2次健康日本21安城計画の策定ができましたので、平成26年度からは策定委員会等の開催はありません。
成果	策定委員会、下部組織である関係部課長で構成する策定幹事会及び関係課担当で構成する策定分科会において、十分協議検討をすることによって、目標値を策定することができました。なお、平成26年度からは第2次健康日本21安城計画の新しい指標の達成度(A判定の数)で評価していきます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
この計画の推進のため、各関係機関や団体と連携して、健康づくりの情報を提供し実施出来るよう支援していくとともに、計画の進捗管理していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	平成25年度に平成26年度から35年度までの10年間の第2次計画を策定したので、今後は第2次計画に基づいて健康づくりを推進していきます。また、この計画を円滑に推進していくために、安城市保健センター運営協議会で、市民や各関係団体等の意見を反映出来るようにしていきます。

事務事業調書

平成26年度

事業No	1000	課	健康推進課	係	予防係	起案者	田中美保
						決裁者	小笠原浩一
事務事業名	看護師養成補助事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 1 救急診療 2 市民にわかりやすい医療情報				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		20-5-5			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	看護師養成補助金交付要綱								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成23年度		経過	3年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		市民			~になる		看護師を養成することにより、充実した地域医療が受けられる。		
事務事業の内容	市民の医療環境の充実に資するため、人材養成事業に補助する（対象は安城市医師会が実施する看護師養成事業）。									
改善・対策の履歴										

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	25,630	25,126	25,630	25,630	25,630
財源計	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	25,000	25,000	25,000	25,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	126 (0.02)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	補助金の支払	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支払い件数(式)	活動の総事業費 (千円)	25,630	25,630	25,630	
			活動にかかるコスト (千円)	25,630.00	25,630.00	25,630.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	卒業生数(人)			目標	0.00	0.00	35.00	35.00
				実績	0.00	0.00	37.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況			達成	
成果2	看護師国家試験合格率(%)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	97.30	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	平成23年4月：第1期生40人が入校 平成24年4月：第2期生40人が入校 平成25年4月：第3期生40人が入校 平成26年3月：第1期生37名が卒業（36名国資合格 97.3% 全国平均89.8%）
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	事業収入や他団体からの補助金だけでは赤字となるため、市から補助金を交付していますが、医師会と協議の上、補助金の額を平成23年から平成27年度まで一定としているためコストに変動はありません。
成果	平成26年3月に第1期生37人が卒業しました。そのうち、20名が市内で、13名が市外で看護師として就職しました。市内の総合病院が積極的に採用したことが、市内への就職率に反映したと考えられます。全国平均を大きく上回る国家資格試験の合格率は、学校が入学者の選抜を厳しくしていることと教育への取組みの結果と考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
市内医療機関の看護師不足を解消するため、また、看護師になることを希望する高校生の進路先が市内にあることの意義からも、継続して補助を行っていきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	看護師を養成することにより、地域医療の確保・充実が図られるため補助を行います。